



平成 25 年 5 月 30 日

報道関係者各位

国立大学法人 筑波大学

自殺予防の方法を学ぶ映画を筑波大学が茨城県と共同で制作

筑波大学精神医学グループは、茨城県の委託で自殺予防の方法を学習できる映画教材「あなたがゲートキーパーになる時」を制作しました。

教材は、会社員の男性、出産後の女性、孤独なお年寄り、卒業間近の大学生がそれぞれ悩みを抱え、家族や友人に助けられる 4 つの物語からなるオムニバス映画形式の DVD です。

物語は精神科の実際の経験事例を踏まえ、リアリティーを重視して構成し、「身近な人の悩みに気づき適切な相談窓口につなげる」というゲートキーパーの役割を、視聴者が十分理解できるようにしました。また研修上のポイントを字幕で表示し、研修用テキストをみながら、ロールプレイやグループワークを行い、自殺予防の方法を効果的に学習できるようにしました。

同教材は、県の許可を得れば、自殺予防の研修を目的とする自治体、学校等担当者が無償で使用できます。精神医学グループでは、この映画教材が、今後県内市町村のみならず地域の自殺予防の研修で様々な活用されることを期待しています。

背景・実績

今まで、地域の自殺予防対策については、市町村や県単位で、啓発キャンペーンや相談窓口の整備のほかに、ゲートキーパー（自殺予防について理解して、身近な人の自殺のサインに「気づき」、「話を聞き」早期に適切な相談機関へ「つなぎ」、「見守る」など適切な対応ができる人）の養成が行われてきました。

しかし、ゲートキーパーの研修方法には決まった手法がなく、研修指導者も不足しているなどの課題がありました。また、ゲートキーパーの研修教材は既に内閣府が制作していますが、自殺予防に重要な気持ちのつながりや現実感の描写からのアプローチも必要、との意見もありました。

そこで、ここ数年地域自殺対策の取り組み実績のある本学精神医学グループに対して、茨城県から国の地域自殺対策緊急強化基金の一部を用いた研修教材製作の委託があり、同グループは本学芸術系大学院生や学生部、保健管理センター、映画製作会社などの協力を得て、昨年 1 年間をかけて教材を完成させました。

問合せ先

筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学 太刀川弘和講師
または、茨城県保健福祉部障害福祉課